

輸出事業計画

※申請者名：有限会社竹炭の里

品 目：竹炭（竹炭スティック、食用竹炭パウダー、竹塩）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・創業以来、放置竹林問題（竹害）の解決を目的に地元の竹林から伐採した竹を原料に竹炭を生産し、それらから付加価値化した竹炭製品を全国に販売してきたが、国内マーケットは縮小傾向にある。今後、更に竹資源を有効活用するためには、国内ばかりでなく海外に向けても情報を発信し、輸出による販路拡大が不可欠と考え、海外マーケティングを推進してきた。

【課題】

1. 竹産業関連業者等との連携体制の構築及び生産体制の強化
2. 機能性の明確化と製品開発
3. 物流コストの削減と物流体制の構築
4. 新たな海外販路の開拓と竹炭の認知度の向上

2. 輸出事業計画の取組内容

1) 竹炭生産体制の構築

- グローバル産地づくり等に関する連携体制の構築を目的とした研修会の実施
- 有機JAS認証竹林面積の拡大を目的とした研修会の実施
- 竹炭の生産性向上を目的とした業務のマニュアル化
- 品質の改善に向けた鋼板製の炭焼き窯の導入

2) 分析・研究データに基づく環境に配慮した製品開発

- 竹炭の機能性に関する科学的根拠データの収集
- 環境に配慮した素材を使用したパッケージデザインの制作

3) 新たな商流形成

- 船便輸送の基準クリアに向けた証明書の取得
- 梱包資材の開発及びテスト輸送による検証
- 食品衛生管理体制構築のため、HACCPに係る認証取得

4) 販路開拓とブランディング

- 海外展示会への出展
- 食品加工業者等へのテストマーケティング
- 海外向けHP・動画等の制作やSNSからの情報発信によるブランディング

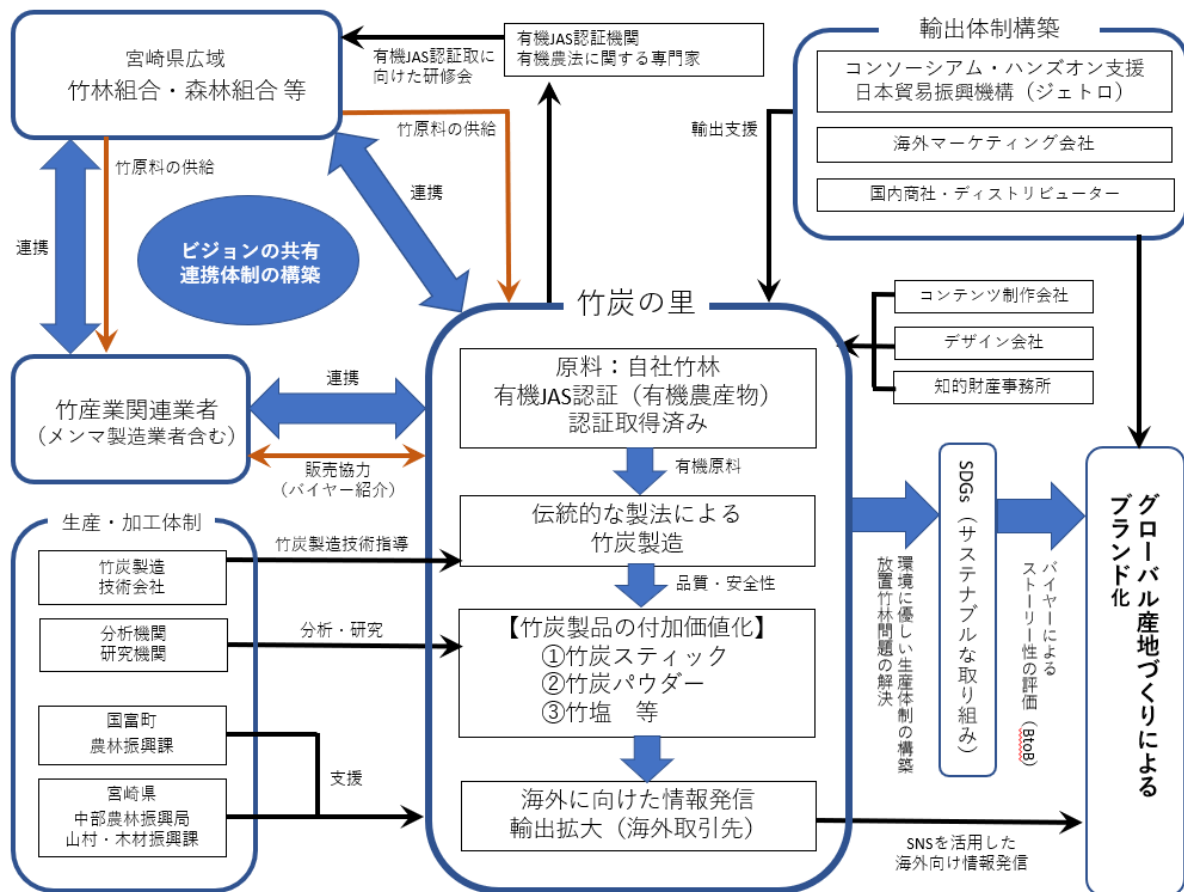
輸出事業計画

※申請者名：有限会社竹炭の里

品目：竹炭（竹炭スティック、食用竹炭パウダー、竹塩）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

弊社が中心となって、宮崎県内の竹林組合や竹産業関連業者、ジェトロ、国内商社、ディストリビューター、関係機関と連携し、輸出ターゲット国に対するニーズの調査や課題等の解決に向けて検証しながら、取組内容や実施スケジュール等の見直しを行って計画を遂行する。



4. 輸出目標額

	現状（令和3年度）	目標年（令和8年度）
輸出額（千円）	10,530	53,900
輸出量（kg）	1,373	6,910
輸出先国	EU(主にフランス) 等	EU、北米等
生産量（kg）	9,704	17,292